文化交流館 新刊図書・ビデオ案内

「博士の愛した数式」〈一般書〉

著:小川洋子／刊:新潮社

17年前に交通事故で記憶力を失った老数学者と、通いの家政婦の「私」と阪神タイガースファンの「私」の息子とのふれあいを描いた本。80分に限定された記憶、ページのあちらこちらに織りこまれた数式など奇抜さが目立つが、そこから他者へのいたわりや愛情の尊さ、すばらしさが見事に謳い上げられている。

「ムジナ探偵局」〈児童書〉

作:富安陽子／絵:おかべりか／刊:童心社

池のオタマジャクシが蛙になるころ、学校で盗難事件がおきた。家庭科室の針、先生のタバコ、そして給食室の包丁。一体だれが何のために?犯人は内部にいる?真相を確かめるために夜中の小学校へ忍びこんだ源太は池の生き物の不思議な真実を知る。ちょっととぼけたムジナ探偵と元気印の源太少年の迷コンビがつづる、ゆかいで不思議な横丁の事件簿シリーズ全4巻。

「たそがれ清兵衛」〈DVD・映画〉

松竹株式会社ビデオ事業部

幕末、平侍の清兵衛は妻を亡くし、娘と老母のために下城の太鼓が鳴ると家路を急ぐ毎日。同僚たちはそんな彼を“たそがれ清兵衛”と呼んでいた。ある日、幼なじみの朋江を救ったことから剣の腕が噂になり、上意討ちの討手として選ばれてしまう。藩命に逆らえず、愛する者たちを残し死地に向かう清兵衛。家庭をとるか、仕事をとるかと問われたら、さてあなたはどちらを選びますか?(129分)

「ロミオの青い空」〈ビデオ・アニメ〉

バンダイビジュアル

貧しいけれど温かい家庭で育ったロミオは、優しく勇敢な11歳の少年。ある日、人買いのルイニが村へやってきて、大都会ミラノへと売り飛ばされてしまう。そこで待っていたのは苛酷な労働、煙突掃除。煙突掃除をするのは、家族と離れたった一人で懸命に生きている少年たちだった。ミラノを舞台に男の子同士の友情をテーマにした物語。シリーズ全8巻。(各94分)

文化交流館は7月から月曜日も開館しています。みなさんのご利用をお待ちしています!

東川町民が選ぶ日本ハムファイターズ月間MIP賞(6月分)

東川町民が選ぶ月間MIP賞(6月分)は、横山道哉投手に贈られました。

授賞レセプションは7月20日に札幌ドームで行われ、東川町稲作研究会会長の金盛勇松さんら参加し、農協からほしのゆめ1年分、観光協会より天人峡・旭岳温泉ペア宿泊券が贈られました。

○横山道哉投手のコメント

「たいへん光栄な賞をいただきありがとう御座います。横浜からトレードで来て、今年初めての北海道となります。本拠地では、どんな時でもファンの声援がとても暖かくて、本当にこの北の大地が、好きになりました。

東川町へもぜひとも行ってみたいです。そのためには今の成績を更に飛躍させて、胸を張って訪問したいですね。これからも応援宜しくお願い致します。」

道草館だより

道の駅になるのに……

ある朝(道草館に)出勤すると、中央のホールの床に中身の入ったジュースのペットボトルが、ふたを閉めない状態で捨てられていました。もちろん、床はベタベタ-そこにアリが集まってきてしまって、大変なことに…。でも、こんな事はしょっちゅうで、煙草の吸殻やお菓子の箱、紙コップがそのまま床に捨ててあったり、観覧用の資料の間にチョコレートがはさまったまま溶けていたり、この間は、手作りの「喫煙コーナー」のプレートがボロボロに壊されてしまいました(泣)。

施設のいたずらなども、あげればキリがない程です。最近は少なくなりましたが、駐車場でスケボーをしている人もいました。人や車にぶつかったら、と思うと本当に冷や汗ものです。

大勢の方が利用する施設です。小さな子供やお年寄りも利用します。町の看板となる施設を大切につかってください。

人のうごき

(7月16日~8月15日)(敬称略)

お誕生

生まれた子	父	母	行政区
矢澤 明澄	教	祐 恵	西 区
宮川 和也	晃一郎	葉 子	4 北 区
高橋 来良	満	良 子	西町2丁目

おくやみ

亡き人	歳	届出人	行政区
吉野 ノブ	98	吉野 和夫	西 区
園田 和滓	74	園田 照子	22 区
湯浅 亮子	68	湯浅 誠治	北町3丁目
林 初江	84	林 薫	7 北 区

広報等の配布にご協力いただきありがとうございます。

広報の配布には各行政区役員等の皆さんの特段のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

お手数をおかけしますが、今後も引き続き速やかな配布をお願いします。

なお、配布に当たっては次の事項にご留意ください。

新しく転入された世帯や町内会に加入されていない世帯にも、併せて配布をお願いします。

毎月の広報の必要部数に増減があった場合はお手数ですが税務住民課広報広聴係までご連絡ください。

大雪山の素顔

だいせつざんのすがお

このコーナーでは、山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員など旭岳で活躍する人たちをリレーして、季節とともに変化する旭岳の旬のお便りをお届けします。

高山植物、紅葉、雪、動物など、「自然の大博物館」と言われる大雪山の素顔が見えてくることでしょう。

紅葉の話

9月。木々の紅葉が、大雪山に最後の彩りを見せてくれる季節がやってきました。空の青とハイマツや笹の緑の間に散らされた赤や黄色の色彩の共演は、何度見ても楽しいものです。今回は、そんな紅葉のお話を。

~紅葉ってなんだ?~

葉は、光合成によって栄養を作る器官であり、同時に呼吸器官でもあります。しかし冬には、寒さや日照不足のせいで光合成が行い難くなり、冷たく乾燥した空気は葉から水分を奪います。厳しい冬を乗り切るために、常緑樹は丈夫な葉っぱで身を守り、落葉樹は葉を落として休眠します。落葉樹が葉を落とす過程で、葉の色素の組成や成分が変化した結果が紅葉です。

カエデやナナカマドなどの葉が赤くなるのは、蓄積された栄養(糖分)からアントシア(ニ)ンという赤い色素が形成され、同時にクロロフィルという緑の色素が分解されていくからです。またダケカンバなどは、クロロフィルの分解とともに、もともと葉の中にあった黄色の色素(カロチノイド)が目立つようになるので、葉は黄色くなります。

~旭岳の紅葉~

姿見の池周辺では、例年9月の中旬前後が紅葉の見ごろです。が、当然ながらこの時期、特に週末は、駐車場は満車、道路は渋滞、ロープウェイも行列と、ものすごく混みます。お越しの際は、早出を心がけてください。また、気温が5℃を下回ることもあるので、寒さ対策もお忘れなく。

静かな山歩きがご希望の向きには、9月下旬~10月上旬の天女ヶ原や旭岳温泉街がお勧めです。静けさを取り戻した山で、ゆっくりと紅葉を楽しむことができます。

文:旭岳ビジターセンター　中村　直弘

短歌

こまごまと吾の思いもつめこみて宅急便の紐しめ直す	那須喜美
風鈴の音いろ好みし母逝きて十七回忌の夏の来たれり	瓜生昭枝
さよならは悲しき言葉九人の乙女の像に額低くたれ	松倉和子
限りある吾が人生を刻みいるこの秒針はいつまで廻る	岡澤チズ子
悲しみの海をさまようひとみさん受け止められぬ運命に二度泣く	三島一世
若き日をささえくれたる足腰は八十半ばは夢ものがたり	岩田ふじえ
暁に過去今日を思いゐるこの生命守りつよく生きたし	清水チヨ
抑えかね乱れる心を書き連ね全部秘密と朱で書く日記	笹田冨士子
蛙鳴く水田の平和あといく日航空防除の公報紙とどく	矢沢ますえ
食品を籠に入れたり戻したり今夜のメニューはまだまとまらず	中田治子
この胸を幾度も射抜く三日月のあかきひかりを慎しみて受く	宮坂敬子
イチミリに満たぬ虫たちひいふうみ数へきれないほど生きてゐる	井山一文

俳句

両国の花火もみずに齢(とし)かさね	石川ヤエ
はぐれじとせせらぎ渡る軽鴨(かも)親子	杉山ひろのり
水打ちて雨を誘いし竹婦人(ちく)	青野公花
炎天にピカソの目鼻廻り出す	秋山深雪
採り時を朝な夕なに茄子胡瓜	石澤清宏
稲妻や蚊帳(かや)の雑魚寝(ざこね)の遠き夜	松山蓉子
文月や読み聴かせつつ母眠る	山口佐知子
文月や葉影で音色競いおり	杉山りつ
くろがねの体をまといて七月尽	澤田久美子
文月や大海知らぬ魚の群	小林露葉
文月や馬齢の白髪(はくはつ)梳きほぐす	宮坂紫雲

◎注:青野作の竹婦人とは竹で編んだ筒状の箒で夜の涼をとる道具のこと